

ペットボトル水平リサイクル「ボトル to ボトル」に関する協定をサントリーグループと締結しました！

泉北環境整備施設組合（泉大津市、和泉市、高石市）は、循環型社会形成をめざし、サントリーグループ（サントリーホールディングス(株)、サントリー食品インターナショナル(株)）と連携し、家庭から収集する使用済みペットボトルを新たなペットボトルに再生するペットボトル水平リサイクル「ボトル to ボトル」に関する協定を令和 6 年 1 月 29 日（月）に締結し、令和 6 年 4 月から事業を開始することになりました。

日本におけるペットボトルのリサイクル率は高い水準にありますが、ペットボトルからペットボトルへのリサイクル率は 29.0%にとどまっています。食品トレイなどペットボトル以外にリサイクルされたものは、使用後に焼却されてしまうことが多く、数回でリサイクルの輪が途絶えてしまいます。

今後、ペットボトル水平リサイクル「ボトル to ボトル」により、市民の皆様が資源物として排出した年間約 830 t のペットボトル全量が、ペットボトルとして繰り返し生まれ変わります。これにより、化石由来原料から新たにペットボトルを製造する場合と比べ、CO₂排出量を約 60%削減することができます。



（左から）畑中副管理者【高石市長】、南出副管理者【泉大津市長】、辻管理者【和泉市長】、サントリーホールディングス(株)サステナビリティ経営推進本部 副本部長 北村暢康氏

令和6年4月から水平リサイクル「ボトルtoボトル」を開始



※「水平リサイクル」とは、使用済みの製品を同じ製品にリサイクルすることです。

泉北環境整備施設組合（泉大津市、和泉市、高石市）からのお願い

ペットボトルを水平リサイクルするには、きれいなペットボトルの収集が必要不可欠です。引き続き、ペットボトルの適切な排出にご協力をお願いいたします。

ペットボトルの排出方法は、これまでと変わりません。

